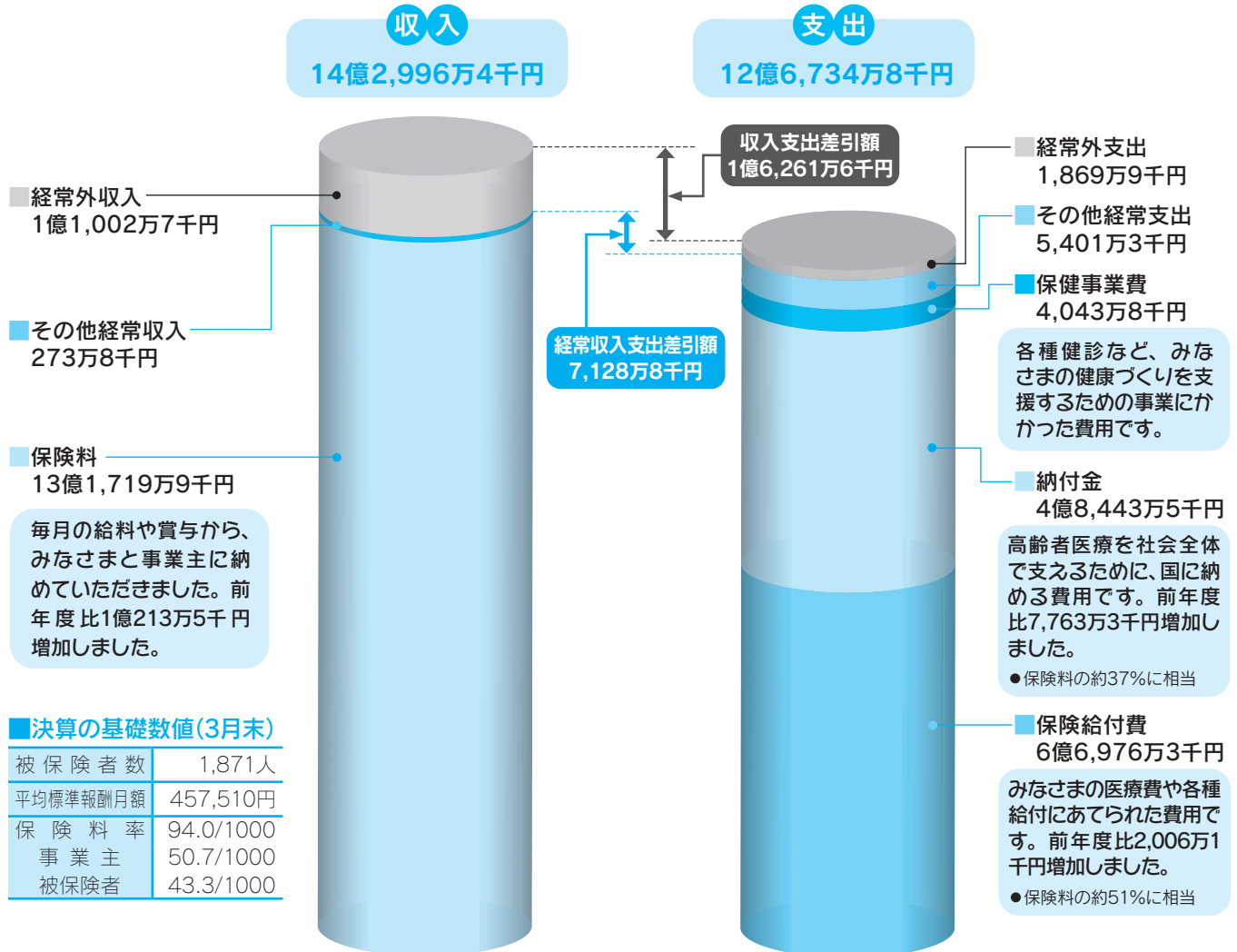


令和5年度決算のお知らせ

7月30日に開催されました組合会において、令和5年度の決算が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

経常収入支出差引額 7,128万8千円

健康保険



収入

主たる収入源である保険料収入は、標準賞与額の増加等で前年度比1億2,000万円増加の13億1,719万9千円となりました。

支出

保険給付費は、前年度比2,006万1千円増加の6億6,976万3千円となりました。また、納付金についても前年度比7,763万3千円増加の4億8,443万5千円となりました。

経常収支

令和5年度も、経常収入支出差引額では7,128万8千円の黒字となりましたが、標準賞与増額分を医療費や納付金の支出に充てている状況です。

また、令和5年度と同等の経常支出を賄うためには、毎月の給与分の保険料(年額約9億5,000万円)に加え、令和4年度を超える賞与分保険料の収入が必要であると見込まれます。今後、高齢化に伴う医療費・納付金の増加や標準賞与額の変動によっては、当健保組合の財政が差し迫った状態になると考えられます。

健保組合は最適な健康保険の運営形態です！

健保組合では、加入者と事業主がコラボし、自主・自立の運営を行っています。そのメリットは…

①保険料率を自主設定

加入者・事業主の代表が、保険料率を自ら設定し、効果的・効率的な運営を行います。

②加入者の特性に応じた健康づくり事業を展開

加入者の年齢構成や勤務形態などからくる疾病傾向に応じた健康づくり事業が展開できます。

③付加給付の設定が可能

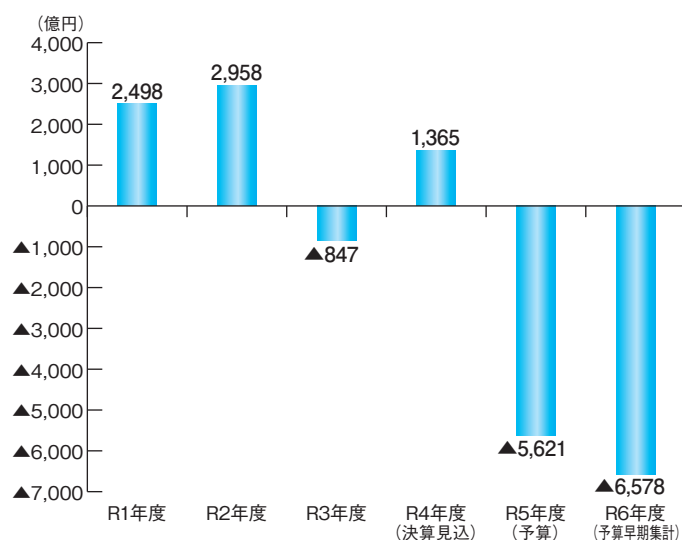
健保組合の財政状況により、独自の付加給付を設定できます。

健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が発表した「令和6年度健康保険組合予算早期集計結果の

このような状況の中、財政安定化への舵を切るためには、加入者のみなさまがご自身の健康保持増進・健康管理に努められることが重要です。当健保組合の保健事業をご活用いただくとともに、日頃から健康づくりに励まれ、ジェネリック医薬品を積極的に利用するなど、医療費の削減にご協力をお願いします。

全国の健保組合の経常収支の推移



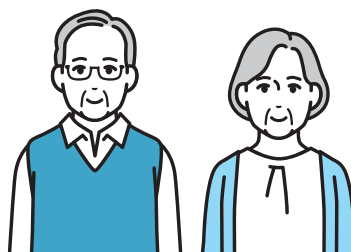
概要によると、全国1、379組合の経常収支差引額は6、578億円の赤字で、令和5年度に続き2年連続の赤字が見込まれています。赤字組合は前年度比103組合増加の1、194組合で、全体の86・6%を占めています。また、保険料率を引き上げた組合は150組合となりました。

ますます進行の一途をたどる超高齢化社会への対策はもちろん、現役世代を支え、負担を軽減するため、健保組合の財政安定化が喫緊の課題となっています。

収支差引額 1億1,285万6千円 介護保険

■決算の基礎数値(3月末)

徴収対象第2号被保険者数	1,349人
平均標準報酬月額	499,904円
保険料率	19.0/1000
事業主	9.5/1000
被保険者	9.5/1000



介護保険収入は、前年度に比べて1、691万円増加しました。一方、介護納付金は前年度から648万2千円減少しました。前年度からの繰越金8、011万円などを加えた結果、収支差引額は1億1、285万6千円となり、今後の介護納付金の増加に備え、全額次年度へ繰り越しました。

■収入

科目	決算額
介護保険収入	2億1,565万6千円
繰越金	8,011万円
収入合計	2億9,576万6千円

■支出

科目	決算額
介護納付金	1億8,287万3千円
介護保険料還付金	3万7千円
支出合計	1億8,291万円
収支差引額	1億1,285万6千円